

第 10 回 西日本インカレ（合同研究会）専用企画シート

必ず「企画シート作成上の注意」をご確認いただき、ご記入をお願いいたします。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
リュウコクダイガク	ケイエイガクブ	テラシマ カズオ
龍谷大学	経営学部	寺島 和夫 ゼミ

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数（代表者含む）
テラシマゼミ ニハン	ミヤマエ ユウキ	5
寺島ゼミ 2 班	宮前 佑基	

研究テーマ（発表タイトル）

食品ロス削減に向けて

1. 研究概要（目的・狙いなど）

「食品ロスの削減の推進に関する法律」(略称 食品ロス削減推進法)が、令和元年 5 月 31 日に公布され、令和元年 10 月 1 日に施行されたことをきっかけに「食品ロス」というものに興味を持ち、身近なところの食品ロスについて調べた。そのために、自分たちが通う大学の生協コンビニで販売されるおにぎりの廃棄率を調査するとともに解決策を考え、少しでも食品ロスを減らすことが狙いである。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

2019 年 5 月、食品ロス削減推進法案が公布された。

食品廃棄物等は 2482 万 t あり、そのうち食品ロスは 643 万 t と食品廃棄物等の 1/4 以上を占める。

世界の主要国の中で日本は 6 位でアジアでは 1 位と食料廃棄量の多さが伺える。

日本では安全意識が高いため、賞味期限・消費期限が短いこと、食品ロスに対する意識が薄いこと、などから世界の中でも食料廃棄量の多い国となっているのだ。

また欧米各地では食品ロスアプリ等から食料廃棄を減らす取り組みがされているが、日本ではまだまだ普及していない現状から世界の中で遅れを取っている。

ただ食品ロス削減推進法案が施行されたことにより今年の 10 月は「食品ロス削減月間」、10 月 30 日は「食品ロス削減の日」と定められていて政府が少しずつではあるが食品ロスに対して動き出そうとしている。

3. 研究テーマの課題

そもそも食品ロスとは、食べられることなく捨てられてしまう食品のことである。飢餓で苦しむ世界中の人々への食糧援助量は約 320 万トンであるにも関わらず、日本の食品ロスは約 643 万トンと、約 2 倍にものぼる驚きの数字である。食糧廃棄量は世界の中でも多く、アジア 1 位の量である。ではなぜ日本の食糧廃棄量がここまで多いのか。日本人の食品ロスへの意識の低さが一原因としてある。飢餓で苦しむ国の人々のことを頭の隅に置くこともなく、どんどん捨てられていく食品。日本人の食品ロスへの意識の低さは、食品ロス削減を目指すうえで大きな課題である。

食品ロスの増大

食べられることなく捨てられる

食品ロスへの意識の低さ

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

ヨーロッパを中心とした世界では食品ロスアプリの普及が拡大している。食品ロスにより発生する無駄なコストをカットできる店舗と、食品を安く購入できる顧客、の双方にとってプラスになる関係が成立する。日本にも同じような食品ロスアプリが存在するが、国民の認知度は低く、アプリに加盟する店舗も極めて少ない。まだまだ普及しているとはいえない状況である。しかしもっとアプリ加盟店が増え、街を歩けばすぐに加盟店が見つかるような状況になれば、日本全体の食品ロスを大幅に削減できるだろう。日本全国の食品ロスアプリの普及が課題解決につながると考える。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

現在大学生協では、POS システムを使いおにぎりの在庫管理・発注を行っている。そのシステムによって管理された毎日の発注数、廃棄数、客数、天気などを記録した管理表を生協コンビニからお借りした。大学での行事の有無やライバル店（大学内にある別のコンビニ）が営業日かどうか、などによってもおにぎりの売上数が変わってくるため細かいことまでを記録し情報源としている。そのお借りした管理表から昨年度の廃棄率を導きだし、おにぎりの食品ロスを調査した。

2018年度 R-Uni生鮮管理表

日付	9月10日	9月11日	9月12日	9月13日	9月14日	9月15日
曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
天気	晴	晴	晴	晴	晴	晴
予想天気	晴	晴	晴	晴	晴	晴
予想気温（最高/最低）	26/22	29/21	28/23	29/21	30/23	29/22
学事日程						
行事	成績発表					
昨年客数	1383	457	426	443	529	129
前週客数	540	0	478	518	500	
前週供給数	289	0	304	276	280	
昨年供給数	447	311	266	268	?	454?
おにぎり	210	170	150	160	170	170
弁当	60	45	45	45	50	20
麺	40	20	25	15	20	0
惣菜	60	45	35	50	60	15
サンドイッチ	50	45	45	45	55	20
菓子パン	70	40	40	70	75	0
あったかい弁当	0	0	0	0	0	0
だいに学園						
合計	490	365	340	385	430	125
廃棄処理	112	334	329	369	451	
おにぎり	0	11	8	14	28	
弁当	0		9	11	4	
麺	0			8	4	
惣菜	0		4	23		
サンドイッチ	0	2	9	13	22	
菓子パン	0				3	
あったかい弁当						
肉まん						
だいに学園						
合計	0	13				

6. 結果や今後の取り組み

食品ロスアプリのような仕組みを大学生協内にも実際に導入し、おにぎりなどの食品の廃棄率をゼロに近づけられるよう取り組んでいく。

将来的には日本全国に食品ロスアプリを普及させ、国全体の食品ロスを削減させる。

7. 参考文献

世界の食料廃棄量ランキング <https://malta-english.com/food-loss-ranking-in-the-world/> (参照 2019-10-21)

• 食品ロスについて知る

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/education/ (参照 2019-10-21)

• No food loss <https://www.nofoodloss.com/> (参照 2019-10-22)

- Too good to go <https://japan.cnet.com/article/35088318/>(参照 2019-10-15)
- 食品ロス削減対策:フードシェアリングサービスがもたらす社会的価値
<https://www.fujitsu.com/jp/group/fri/knowledge/opinion/er/2019/2019-7-2.html>(2019-10-20)
- もったいない!食べられるのに捨てられる <https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201303/4.html>(参照 2019-10-25)
- POS データ <https://boxil.jp/mag/a2537/>(参照 2019-10-19)
- POS データ 2 <http://www2.meijo-u.ac.jp/~onishi/poss12/pos.html>(参照 2019-10-19)

●パワーポイント内に動画を使用されている場合、動画を使用しているスライドのページをご記入ください。

●発表時に使用する成果物（例. 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査に使用したアンケート）

大学生協資料

【企画シート作成上の注意】 ※「第 10 回 西日本インカレ（合同研究会）大会参加要項」も合わせてご確認のうえ、企画シートの作成を行ってください。

- ・本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。
- ・本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、翌年 3 月に公開予定の「日経ビジネス電子版」にリンクされた特設サイトに掲載されます。
- ・本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ・本企画シートは、作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。
- ・大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ・商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティングは一切の責任を負いません。
- ・書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。
- ・発表時に使用する成果物がありましたらご記入ください。記入がない成果物は大会当日使用することができません。また記入いただいた内容について、事務局から代表者の方に確認をさせていただく場合がございます。
- ・電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

↑ここまでを 4 ページ以内に収めて、提出してください↑